

日時	令和2年2月9日(日曜日) (14:00) ~ (16:05)
場所	大庄北生涯学習プラザ1階ミニホール
参加者	参加者12人(1人欠席)、市職員17人、傍聴者は2人
資料	「第1回大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップ レジメ」 「大庄中部《未来につなぐ》まちづくり市民委員会の提言(要約)」 資料1-① 「大庄中部《未来につなぐ》まちづくり市民委員会報告書(H21.10)抜粋」 資料1-② 「南ノロ公園、大庄西中学校跡地概要図」 「大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップ参加者」 「旧大庄西中学校跡地活用に係るワークショップの設置について」
内容 ・協議事項 ・決定事項 ・連絡事項 など	<p><b>1 開会の挨拶</b> (所長挨拶後、まちづくりワークショップ参加者、事務局側職員のあいさつ及び配布資料の確認) 参加者：名簿に事務局側の名前も記載してほしい。 市：次回追記する。</p> <p><b>2 まちづくりワークショップの趣旨説明と今後の進め方について</b> (質疑なし)</p> <p><b>3 市民委員会からの提言内容について</b> 参加者：公園や施設について議論するのはそれぞれ1回ずつなのか。 市：そうである。部会でまちづくりワークショップ(以下「WS」と表記する。)参加者以外からも意見を聞き、5回目のWSでそれらを踏まえて、意見を発表してもらおう。 参加者：WSで決めるところまでするという事か。 市：WSは意見を発表してもらおう場で、次回、市の考えも伝えた上で意見をもらう。3回目の部会では、WSメンバーがファシリテーターになって部会の意見を集約し5回目のWSで意見をまとめていく。集約した意見は地域の意見として取り扱い、できるだけその意見を踏まえ、最終的には市が責任をもって決めていく。 参加者：あたかも平成21年の提言が実現しているような説明だが、1番肝心なものができていないことを認識する必要がある。そのうえで、放置されていたものを改善するという事。我々の意見を実現させてほしい。 市：メインの公園、体育館は大きな課題だと認識している。 参加者：意見を踏まえ、市が取りまとめたものを提示する場はあるのか。意見をねじ曲げられると困る。 市：それらの取り扱いについてもこのWSで意見をもらいたい。未定だが、地域への説明会や社協への説明が必要と考えている。 参加者：公園が10年できなかった理由を明らかにせずに議論できるのか。 市：下水、道路の課題があるが、市の内部で解決することを前提にこのWSを開催している。これらの課題はこのWSでの論点としない。</p> <p><b>4 現地まち歩き</b> (旧大庄西中学校の状況、南ノロ公園の道路、下水管の課題について現地で説明)</p> <p><b>5 本日の振り返りについて(ワークショップ形式)</b> (各テーブル1人5分ずつまちづくりの思いを発言後、各テーブルごとに意見を発表)</p> <p><b>Cテーブル発表意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまった大きな土地が他になく、余っているからといって安易に売るのは反対。</li> <li>・具体的な案はないが、ハコモノを建てるだけでなく、それ以外の使い方も考えてはどうか。</li> <li>・大庄中部に施設を一極集中させてしまうと、南部の方は来るだけでも大変。</li> </ul>

- ・タコ(南ノ口)公園を売ったとしても、南部に新しい土地を買って(施設を)分散させるべき。
- ・体育館や千代木園を集約させるにしても、特定の方だけが利用している現状の施設をそのままではなく、画期的なものにしてほしい。(プロが使えるようなものやどの世代も利用できるものなど)
- ・子供が野球をできるような広い公園が少ないので、そういう場所は確保しておきたい。
- ・大庄西中跡地の南の道路や南ノ口公園の周りの道路は狭いので、売却するときなどは道路の幅員を確保してほしい。

#### A テーブル発表意見

- ・体育館と千代木園の複合建替などに話が進んでいるが、南ノ口公園を南にもってくるという前提のなか、公園の課題解決ができておらず順番が逆。
- ・公園が少ないので、みんなが必要とするなら南ノ口公園を南に移すのもいいし、せっかく集まっているのでどういう公園にしたらいいかを話し合うのもいいのではないかな。
- ・防災公園にしてほしい。
- ・体育館は子供たちも使えるものなのか心配。子供たちが簡単に利用しやすいものがない。
- ・おもしろ広場で現在行われている活動ができなくなるのが心配。こういった形で他で活動できるようにするのか。

#### B テーブル発表意見

- ・10年前の提言と現状が違うなかで、おもしろ広場などは10年間暫定利用されており、地域との関係、地域の役割の基盤となっている。
- ・今までの経緯経過も踏まえたなかで議論していくべき。
- ・これからの子供たちに向けた施設や考え方が重要。
- ・結論が決まっているのではないかな。
- ・ワークショップ自体がどういう方向でしたいのか見えにくい。(次回ワークショップで説明がほしい)

(意見発表後、質疑応答および事務局の回答)

参加者：10年前の提言をスタートとして話をするのか。ゼロから話をするのか。

大庄地区全体の地域の活性化と大庄西中跡地の話し合いだと思ってきたが、公園をどうするか、体育館と千代木園の複合施設をどこにやるかということが論点になっているが。

市：このWSは南ノ口公園の課題を解決することを前提としており、基本的に10年前の提言をスタートとしている。しかし、10年経つなかで、ファシリティマネジメント計画に基づく、体育館の考え方など新たな考え方がでてきている。次回、市の考え方を聞いてもらいながら、みなさんの意見を改めて聞く。ゼロからということではない。

市：結論が決まっているのではないかなという質問であるが、結論は決めていない。WSの意見を踏まえて、市として決定していく。

参加者：極端な話だが、大庄西中の跡地をそのまま残したいという意見があったとしたら、体育館をタコ公園に作るということもありえるのか。

市：今回のWSは大庄西中の跡地については、10年前に南ノ口公園を移転させて大庄西中学校の跡地に防災機能をもった公園を作ろうという意見があつて、これが実現できていない。どこにつくるのか、どんな公園にするのかどんな規模にするのかは、決まっていないので、それをこの場で話し合いをしてもらったらと思う。10年前は、地区会館、体育館、支所、図書館等の複合施設を大庄西中にもってきたいという意見があつた。行政としてはそのうち実現できていないものが体育館だと思っている。その体育館については、今回千代木園と複合化

させて、大庄西中学校跡地はどうでしょうかという提案をしている。大庄地区に集中させるなという意見もあったが、10年前にも集約した方がいいという意見と分散させた方がいいという意見があった。10年前は大庄西中が大庄地区の中心だからここに集中させようという意見が多く、こういう提言にまとまったという経緯がある。基本は公園の話と残っている体育館の話をする場である。

参加者：前の提言ができるまでの経緯を私はわかっているが、情報にレベル差があるので、知識量を埋めないと議論できないと思う。

市：次回にもう少し詳しく説明し議論できる時間をとる。

：また、今日の論点となる意見について、次回に整理しお配りし、情報共有させてもらう。

## 6 その他

(次回の開催と主な議題について説明)

市：本日の意見を踏まえ、市から、体育館と土地活用の考え方を説明する。その上で、WS形式で具体的に体育館の部分と土地の活用の部分について意見をもらいたい。また、WSのなかでは特に10年前から整備ができていない体育館と南ノ口公園の2議論に絞って、意見をもらいたい。質問にもあった10年前からの経緯については、市からの説明のなかで少し加えていく。

以 上